

令和2年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 札幌市下水道河川局	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 経営管理部経営企画課 担当 和田 Tel 011-818-3452 Fax 011-812-5203 gesui@city.sapporo.jp
代表者氏名 西田 健一（札幌市下水道河川局長）	

部門名 行政 部門	事例名 ミニさっぽろ下水管理センター（下水道管路の維持管理）
--------------	-----------------------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

●「こどものまち ミニさっぽろ」とは？

札幌市内及び近隣市町村の小学校3・4年生を対象に、仮想の街で職業体験や消費体験を通して、子どもたちに働くことの楽しさや大変さを体験してもらい、社会の仕組みを学んでいくイベントです。下水道河川局では、平成27年度よりブース出展を継続しています。
（ホームページ <https://www.mini-sapporo.com/>） ※累計875人の子どもが体験

●「ミニさっぽろ下水管理センター（下水道管路の維持管理）」とは？

令和元年度は、下水道管路の維持管理をテーマに、塩ビ管で作製した下水道管のキットに、実際に取付管の調査時に使用しているテレビカメラを用いて、下水道管内の調査を体験してもらう内容としました。

●体験内容

① 下水道管のしくみの説明

ブース内に設置したパネル等を使用して、下水道のしくみや下水道管の維持補修に係る仕事内容の説明を行いました。また、仕事にまつわるクイズも出題し、楽しく学んでもらいました。

② 取付管（模擬）の調査

実際の調査で使用しているテレビカメラを用いて、塩ビ管内の調査を行いました。

③ 調査結果の記録

調査を踏まえ、確認できた内容を記録しました。

わかるかな？



みんな真剣に聞いています。



調査は2人1組で協力して実施しました！



体験終了後は、下水道のしくみがわかるパンフレットも配布しました。

エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

●局内広報事業 若手ワーキングプロジェクト

局内の若い職員で構成する「若手ワーキングプロジェクト」で、プロジェクトメンバーが中心となり、企画立案から準備を進め、当日の運営まで行いました。



付属資料の提出	あり ・ なし (どちらかに○)
---------	------------------